

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

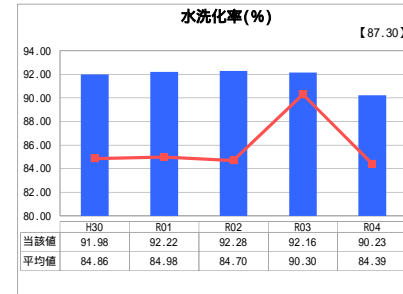
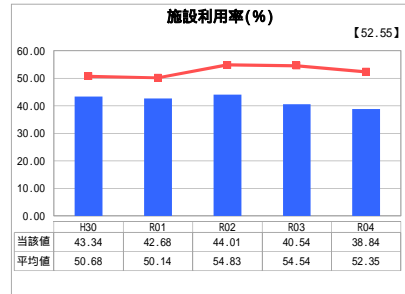
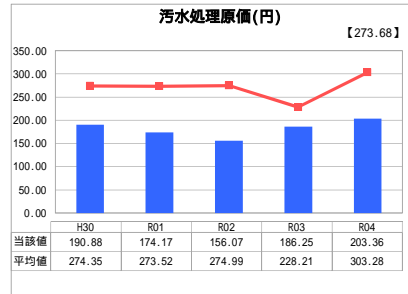
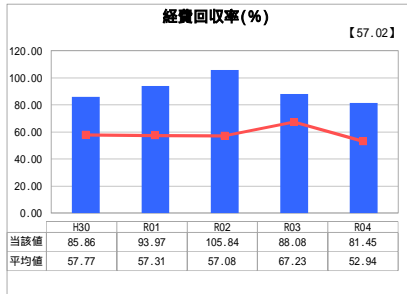
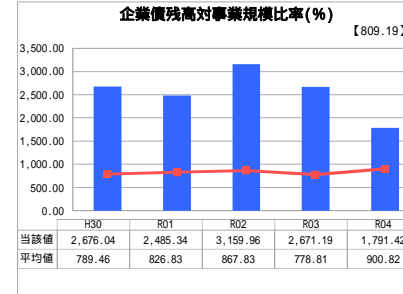
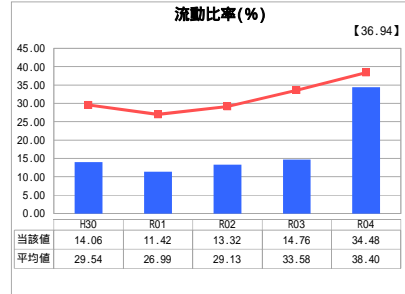
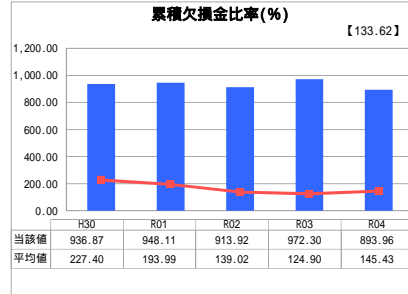
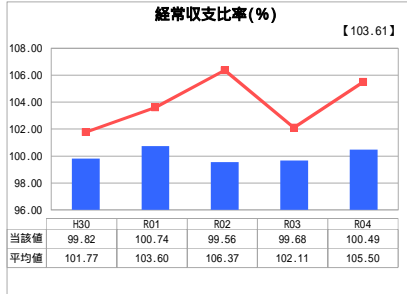
兵庫県 加東市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	63.92	4.45	94.41	3,146

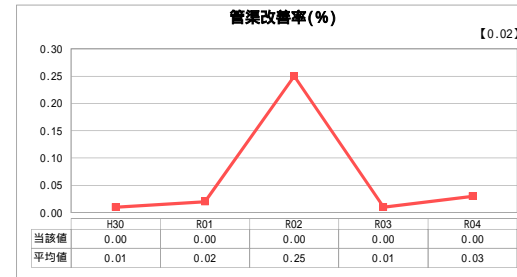
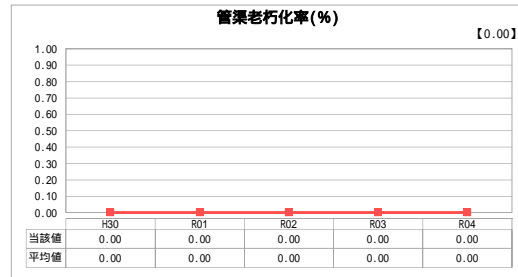
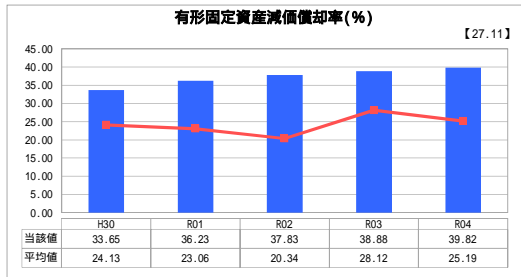
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
39,719	157.55	252.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,760	0.65	2,707.69

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、資本費（減価償却費と企業債支払利息）が減少したことにより100%前後を維持しており、経費に見合う使用料収入が概ね得られている。

累積欠損金比率は、類似団体平均値と比べ高いが、本事業により整備した下水道を公共下水道及び特定環境保全公共下水道に接続する工事（以下「下水道処理場統合整備」という。）を行い、経営の効率化による大幅な収支改善を図ることで、赤字を解消していく。

流動比率は、流動資産である現金預金が少なく、流動負債である企業債の元金償還が多いため、100%未満となっているが、下水道使用料等の収入で1年以内に支払うべき債務に対しての支払いはできている。

企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値より高い。

経費回収率は、下水道処理場統合整備の進捗に伴い、使用料収入と汚水処理費が他事業会計へ移行したことから、前年度に比べ汚水処理原価が増加し、100%を下回った。

汚水処理原価は、下水道処理場統合整備の進捗に伴い、汚水処理費の減少よりも年間有収水量の減少が上回ったことにより、前年度に比べ17.11円高くなった。

施設利用率は、類似団体平均値よりも低い。下水道処理場統合整備による施設利用の効率化を図る。

水洗化率は高く、適正に使用料収入を得られる環境にある。引き続き未接続先に対する水洗化の啓発を行う。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を上回っており、生活排水処理場の廃止による効率化を図りつつ、管渠等の老朽施設は、計画的に更新を行っていく必要がある。

法定耐用年数を超えた管渠はない。引き続き適切な維持管理と計画的な修繕を行っていく。

## 全体総括

当市の下水道ビジョン及び経営戦略に掲げた施策目標「持続」と「リスクの抑制」の達成に向けて、下水道処理場統合整備やストックマネジメントなどの事業を着実に実施するとともに、進捗管理を行い、事業の効率化及び財政基盤の強化を図ることで、経営の健全化を目指す。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。